令和6年度学校評価アンケート　経年比較

No.	対象	評価項目	肯定的（%）			否定的（%）			わからない（%）	分析	担当
			R05	R06	増減	R05	R06	増減	R06		
1	生徒	自分は，南高の学校生活に満足している。	86	79	−7	14	21	7	−	肯定的に評価されており、学校行事や部活動、学習面などの学校生活において生徒の活躍する姿が反映されていると考えられる。ただ、生徒には否定的な評価が21%あり、より主体的に活躍できる場や個人の役割が十分発揮できる場が必要である。行事等で生徒が意欲的に取り組めるように指導していきたい。	生徒
	保護者	お子様を，南高に進学させて良かったと思う。	92	92	0	5	5	0	3		
	教員	南高では，生徒が生き生きと高校生活を送っている。	96	98	2	4	2	−2	−		
2	生徒	南高では，教え方が工夫され、わかりやすい授業が行われている。	86	83	−3	14	17	3	−	肯定的な意見が概ね80%以上になっている。 クロームブックの活用や授業改善、きめ細やかな指導の結果が出ていると考える。今後、さらなる授業改善、クロームブックの活用、生成AIの活用など新しい技術の導入が必要になってくると考える。	教務
	保護者	お子様は，学習の基礎的・基本的な内容が身についたと感じる。	82	83	1	16	14	−2	3		
	教員	南高では，生徒の学力を伸ばすために，学習の質を高める取り組みを行っている。	82	86	4	18	14	−4	−		
3	生徒	南高では，家庭学習の習慣が身につくような指導が行われている。	75	71	−4	25	29	4	−	肯定的な意見が80%に達していない。（昨年と比較すると教員は増加しているが、生徒は減少している） 家庭学習の習慣をつけさせるには、適切な課題が必要になってくる。各教科で適切な課題について考え、年間を通したバランスの良い学習環境を整える必要があると考える。また、学習実態調査等を活用して、家庭学習の習慣を改善していく必要があると考える。	教務
	保護者	お子様は，高校の学習に応じた家庭学習の習慣が身についていると感じる。	65	64	−1	33	33	0	3		
	教員	南高では，家庭学習の習慣をつけさせる取り組みを行っている。	73	79	6	27	21	−6	−		
4	生徒	南高では，個々の生徒に応じた、進路指導が行われている。	85	81	−4	15	19	4	−	生徒の肯定的意見が減少したのは、個別対応に重点を置いた進路相談ができなかったことが要因と考えられる。教員の肯定的意見が上がった理由として、進路の取り組みに学年団を中心に協力をして頂いた結果だと考えられる。	進路
	保護者	南高は，個々の生徒に応じた進路指導を行っている。	68	69	1	12	14	2	17		
	教員	南高では，個々の生徒に応じた進路指導を行っている。	94	98	4	6	2	−4	−		
5	生徒	南高では，高度な資格取得や検定受験，全国レベルの競技大会に挑戦する指導が行われている。	97	96	−1	3	4	1	−	両学科ともに、検定試験に積極的に挑戦して上級資格を取得することができた。また、それぞれの専門分野の活動において、全国レベルの大会やコンテストに挑戦し、優秀な成績を収めることができた。これらのことが生徒の自信につながり肯定的な意見が多くなったと考える。	商業 家庭
	保護者	南高は，高度な資格取得や検定受験，全国レベルの競技大会に挑戦するなどの特色ある指導をしている。	89	89	0	5	4	−1	7		
	教員	南高では，高度な資格取得や検定受験，全国レベルの競技大会への挑戦など，特色ある指導を行っている。	100	100	0	0	0	0	−		
6	生徒	南高では，様々な場面でグローバル教育が行われている。	74	70	−4	26	30	4	−	今年もオーストラリアのホームステイが実施できた。昨年にひく続きドイツからの留学生を迎え、生徒たちの刺激となった。オーストラリアの学校との姉妹校については今後も調査を進める。	総務
	保護者	南高は，様々な場面でグローバル教育を行っている。	61	56	−5	12	15	3	29		
	教員	南高は，様々な場面でグローバル教育を行っている。	65	86	21	35	14	−21	−		
7	生徒	南高では，職業に関する知識や社会人としての基礎を身につける指導が行われている。	94	92	−2	6	8	2	−	高い評価を頂いている。進路LHRや進路ガイダンス、外部講師による講演会などの取り組みによるところが大きいと考えられる。職業人の育成を掲げる専門高校として、高い指標を維持したい。	進路
	保護者	南高は，職業に関する知識や社会人としての基本を身につける指導を行っている。	80	77	−3	7	10	3	13		
	教員	南高では，生徒の職業観や勤労観を育む進路指導を行っている。	84	88	4	16	12	−4	−		
8	生徒	南高では，多様な学習活動や体験を通して進路指導が行われている。	92	91	−1	8	9	1	−	概ね高い評価を頂いた。総合的な探究の時間や日々の授業、学校行事、進学補習などあらゆる場面が、進路実現につながるという意識で指導をしていきたい。また、保護者への情報発信をしたい。	進路
	保護者	南高は，多様な学習活動を通して生徒の進路実現をはかっている。	74	74	0	9	11	2	15		
	教員	南高では，多様な学習活動を通して，生徒の主体的な活動を支援する進路指導を行っている。	90	91	1	10	9	−1	−		
9	生徒	南高では，「南高だより」やホームページなどで学校情報が積極的に公開されている。	96	95	−1	4	5	1	−	三者とも肯定的に評価している割合が昨年同様多くを占めた。各種行事のオンライン配信、生徒による動画の投稿などが好意的に受け止められ、HPのアクセス数が増加している。	総務
	保護者	南高は，広報誌「南高だより」やホームページなどで積極的に情報を公開している。	92	86	−6	3	5	2	9		
	教員	南高では，ホームページや「南高だより」などで学校情報を積極的に公開している。	100	100	0	0	0	0	−		
10	生徒	南高では，社会貢献活動やボランティア活動が活発に行われている。	98	98	0	2	2	0	−	三者とも肯定的に高い割合で肯定的に評価している。校内外でのボランティア活動に生徒たちは積極的に参加してくれた。社会貢献活動は定着しており、生徒の意識も高く、機会さえあれば活発な活動ができる。	総務
	保護者	南高は，社会貢献活動やボランティア活動を活発に行われている。	83	82	−1	4	5	1	13		
	教員	南高では，社会貢献活動やボランティア活動を活発に行っている。	98	100	2	2	0	−2	−		

No.	対象	評価項目	肯定的（%）			否定的（%）			わからない（%）	分析	担当
			R05	R06	増減	R05	R06	増減	R06		
11	生徒	南高では，礼儀やマナーを身につけ，規則を守って生活する指導が行われている。	96	96	0	4	4	0	－	高い値で肯定的に評価されており、日々の指導により規範意識の育成がなされていると考えられる。しかし、外部からの苦情は今年度23件で昨年度よりも多くなっている。その都度SHRや集会等で指導を行っている。0にすることは難しいかもしれないが、今後も継続的な指導が必要である。	生徒
	保護者	お子様は，礼儀やマナーを身につけ，規則を守って生活することができていると感じる。	92	92	0	5	6	1	2		
	教員	南高では，挨拶などの礼儀やマナーを身につけさせ，規範意識を養う教育を行っている。	96	93	−3	4	7	3	－		
12	生徒	南高では，学校行事や部活動に自主的・主体的に取り組む指導が行われている。	95	93	−2	5	7	2	－	誠友会を中心とし、生徒主体で学校行事に取り組んでおり、高い評価を得ている。また、部活動においても、自主的・主体的な活動が尊重されながら活動している。全国大会へ出場する部活動もあり、日頃の取り組みが実を結んでいる。	生徒
	保護者	お子様は，学校行事や部活動に自主的・主体的に取り組んでいる。	90	90	0	8	9	1	1		
	教員	南高では，学校行事や部活動を自主的・主体的に活動させることで，人間的な成長を促している。	94	93	−1	6	7	1	－		
13	生徒	南高では，いろいろな機会に本を読むことをすすめている。	66	68	2	34	32	−2	－	保護者だよりなどで図書館活用教育を広報しているが、職員と保護者の評価の開きが大きく、工夫が必要である。また、探究的な学習が全教科で求められており、それに合わせて、読書奨励だけでなく、情報活用教育にも焦点を当てた評価項目に変更していきたい。	図書
	保護者	南高は，いろいろな機会に本を読むことをすすめていると感じる。	53	48	−5	20	24	4	28		
	教員	南高では，いろいろな機会に本を読むことをすすめている。	86	88	2	14	12	−2	－		
14	生徒	南高では，専門学科で特色ある学習を行い，実際に社会で必要とされる力を身につけている。	95	96	1	5	4	−1	－	例年生徒・教員の肯定的意見が90%以上と高いが、保護者のわからないという回答が多い。各学科で学んでいる姿を南高だよりやHP（ブログ）などを利用して情報を発信していく必要がある。 また、社会が必要とする力（社会人基礎力）を身につけることは、今後も専門学科として、さまざまな学校生活を通して、重視する必要がある。	商業 家庭
	保護者	お子様は，専門学科で特色ある学習を行い，実際に社会で必要とされる力が身についていると感じる。	78	76	−2	10	12	2	12		
	教員	南高では，専門学科の特色ある教育活動を行い，実際に社会で必要とされる力を育成している。	92	93	1	8	7	−1	－		
15	生徒	南高では，「コミュニケーション能力の育成」のための指導が行われている。	87	86	−1	13	14	1	－	生徒・教員は「コミュニケーション能力の育成」が定着しつつあることが分かる。HR・授業・行事・部活動等、様々な場面で意識して活動できているのではないかと考えている。しかし、保護者の否定的意見が増加していることから、生徒から保護者へ伝えるべき学校からの連絡事項などが十分伝わっていないのではないかと考えられる。教員から生徒への声かけが必要である。	教務 生徒 商業 家庭
	保護者	南高は、「コミュニケーション能力の育成」のための指導が行なわれている。	58	60	2	9	13	4	28		
	教員	南高では，「コミュニケーション能力の育成」のための指導を行っている。	92	91	−1	8	9	1	－		
16	生徒	南高では，校内美化に努めている。	89	86	−3	11	14	3	－	感染症対策が緩和されても、校内における感染症予防への取り組みをしっかりと行った。清掃活動もその一般としてとらえ、清潔な環境下で学校生活が送れるよう、美化委員会を中心に活発に取り組むことができた。 お手洗いの改修が終わって日が経っているが、清掃努力の成果で気持ちよく使用できる状況を継続できている。	保健 厚生
	保護者	南高は，校内美化に取り組むよう指導している。	66	66	0	6	6	0	28		
	教員	南高では，清掃活動を通して，公共心や責任感を育てる指導を行っている。	80	91	11	20	9	−11	－		
17	生徒	南高では，心身の健康を守るための保健室活動を行っている。	87	85	−2	13	15	2	－	健康管理のために、定期検診結果を受けて要受診者への受診指導が積極的に行われ100%に近い受診率を達成できた。心の健康管理については、相談助言室と連携をとりながら、引き続き積極的に取り組んでいきたい。	保健 厚生
	保護者	南高は，生徒の心身の健康を守るための保健室活動を行っている。	61	57	−4	5	9	4	35		
	教員	南高では，心身の健康を守るための保健室活動を行っている。	100	100	0	0	0	0	－		
18	生徒	南高では，生徒の良好な人間関係づくりの支援や，いじめ根絶に向けた取り組みが行われている。	80	76	−4	20	24	4	－	アフターコロナ2年目となったが、人間関係作りに悩む生徒は依然として増加していることと、表立ったトラブルやいじめが出てこないため、いじめに関する関心が一層低下したことが影響し、数値が下がったと考える。人間関係作りについて学べる機会を増やしていくようにしたい。	人権 相談
	保護者	南高は，生徒の良好な人間関係づくりの支援や，いじめ根絶に向けた取り組みを行っている。	55	54	−1	10	12	2	34		
	教員	南高では，生徒の良好な人間関係づくりの支援や，いじめ根絶に向けた取り組みを行っている。	92	95	3	8	5	−3	－		
19	生徒	南高では，心の健康相談など心のケアをする取り組みが行われている。	90	87	−3	10	13	3	－	コロナ禍が落ち着き、生活が平常に戻ったことから、昨年度から人間関係に悩む生徒が増加したが、SCへの相談等に関する啓発を一層強化したことにより、本校の心のケアに関する取り組みへの意識が高まったと考える。	人権 相談
	保護者	南高は，心の健康相談など心のケアに関する取り組みを行っている。	71	67	−4	5	6	1	27		
	教員	南高では，生徒の悩みを発見し，心をケアするための取り組みが行われている。	98	98	0	2	2	0	－		
20	生徒	南高では，ICT機器を利用した授業が積極的に行われている。	87	89	2	13	11	−2	－	肯定的な意見が全般的に増加している。クロームブックの活用も年々浸透してきており、パソコンやプロジェクタなど常にICT機器が活用できる環境が整備されていることが要因だと考える。また、環境の整備だけでなく、授業、HR、行事、部活動等あらゆる場面での活用がこのような結果につながったと考える。	教務 情報
	保護者	南高は，ICT機器を利用した授業が積極的に行われている。	62	67	5	9	8	−1	25		
	教員	南高では，ICT機器を利用した授業を積極的に行っている。	92	98	6	8	2	−6	－		
21	教員	南高では，組織の活性化と業務の効率化の推進、教職員の同僚性の向上と健康の維持が図られている。	78	81	3	22	19	−3		コロナ以前の学校行事が戻る中で内容の見直しや精選、ICTを活用したアンケート集計の提案、実施など、各先生方が業務の効率化を図ろうと協力しあい工夫していること等が、同僚性の向上につながり、肯定的な割合が増えたと考える。今後も互いを認め合い、思いあえる組織であるようにコミュニケーションをとりながら業務を進めていきたい。	管理 職